

取扱説明書

紙折機 EZF-100



ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

Rev. 1.01

- ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
- [安全上の注意]に使用されている絵表示の例。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。(左図の場合は高温注意)



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。(左図の場合は分解禁止)



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと)

安全上の注意

警告

	アース接続してください。 漏電した場合、感電を防止します。
	この機器は50Hzと60Hzで別仕様です。周波数が仕様外の場合、火災・故障の恐れがあります。交流100Vで使用してください。電圧が高すぎたり低すぎたりする場合、火災・故障の恐れがあります。
	この機器の上に物をのせないでください。機器内部に水・異物が入った場合、火災・漏電の恐れがあります。
	電源コードの扱いには十分注意してください。 傷付ける・破損させる・加工する等の行為をしないでください。 火災・感電の恐れがあります。
	重量物をのせないでください。火災・感電の恐れがあります。 プラグやコードを無理に曲げないでください。火災・感電の恐れがあります。 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	この機器のカバーは外さないでください。感電やケガの恐れがあります。
	この機器を改造しないでください。火災・感電の恐れがあります。
	発熱していたり煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントからぬいてください。そして販売店にご相談ください。
	電源コードが熱を持ったり、異臭がするなど異常があったらすぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントからぬいてください。そして販売店にご相談ください。
	異物が機器に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。
	雷が近づいてきたら、落雷による火災・故障を防ぐためコンセントを抜いてください。

注意

	髪の毛・ネクタイ・ネックレスなどを駆動部にたからさないでください。けがの原因になります。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
	湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になります。
	本機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因になります。
	連休等で、本機を使用にならない時は安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

はじめに

ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。

この「取扱説明書」は、必要な時にいつでもお読みになれるように、保管場所を決めて大切に保管してください。

この製品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため、同一製品においても「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないでください。

目次

1.	設置前の注意事項	
1. 1	設置場所の確認	5
1. 2	搬入時の注意	5
1. 3	付属品の種類・数量の確認	6
2.	製品各部の名称	
2. 1	外観	7
2. 2	操作パネルシート部	8
3.	特に注意していただきたいこと	
3. 1	用語の定義	
3. 1. 1	マーク解説	9
3. 1. 2	用語・折形解説	9
3. 2	特徴および使用目的	9
3. 3	使用しないとき	9
3. 4	使用上の注意	9
4.	使用前の準備	
4. 1	付属品を取付ける	10
5.	使用方法	
5. 1	規格用紙（A3・A4・B4・B5等）の定形折り	12
5. 2	規格外用紙（A3・A4・B4・B5等以外） の折り位置セット方法	15
5. 3	クロス折り	16

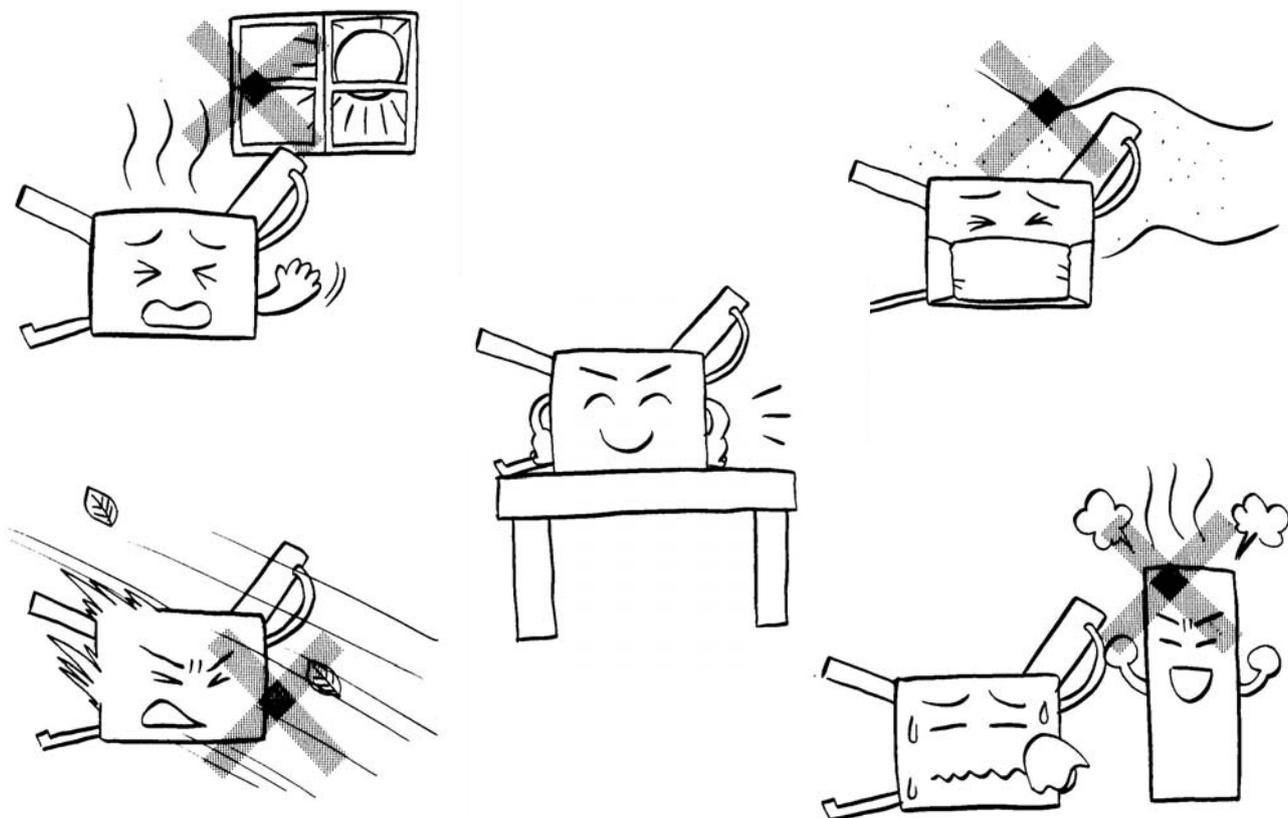
5. 4	調整	
5. 4. 1	斜行調整	17
5. 4. 2	折りカセット1・2の微調整	18
5. 5	カウンタ	18
5. 6	速度調整	19
5. 7	設定機能	20
5. 8	エラー表示・状況・対策	21
6.	保守・点検・消耗品	
6. 1	点検・お手入れ時の注意事項	22
6. 2	日常のお手入れ	22
6. 3	消耗品について	22
6. 4	排紙フォトセンサの清掃について	23
6. 5	用紙セパレータ・給紙ゴムローラの脱着について	24
7.	トラブル時の処置	
7. 1	トラブルの内容と処置	25
7. 2	故障の場合	26
8.	移設または廃棄するとき	
8. 1	移設	
8. 1. 1	旧設置場所からの撤去作業	27
8. 1. 2	運搬	27
8. 1. 3	移設先での設置	27
8. 2	廃棄	27
9.	製品仕様	
9. 1	仕様	28

1. 設置前の注意事項

1. 1 設置場所の確認

次の条件を満たした場所に設置してください。

- ・直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- ・窓際は避けてください。
- ・湿気やほこりの多い場所は避けてください。
- ・風の当たるところ、熱を発生する機器付近での使用は避けてください。
- ・丈夫で水平な台又はテーブル上に設置してください。



1. 2 搬入時の注意

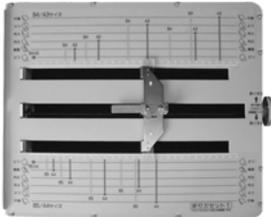
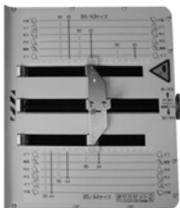
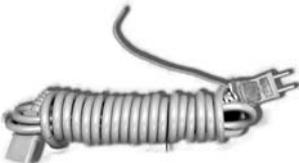
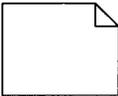
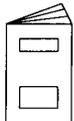
- ・衝撃や激しい振動が製品本体に加わらないようにていねいに取り扱ってください。
- ・保護手袋をし、2人で底面4隅をしっかり持って運搬してください。

1. 3 付属品の種類・数量の確認

開梱したら、付属品の確認をしてください。

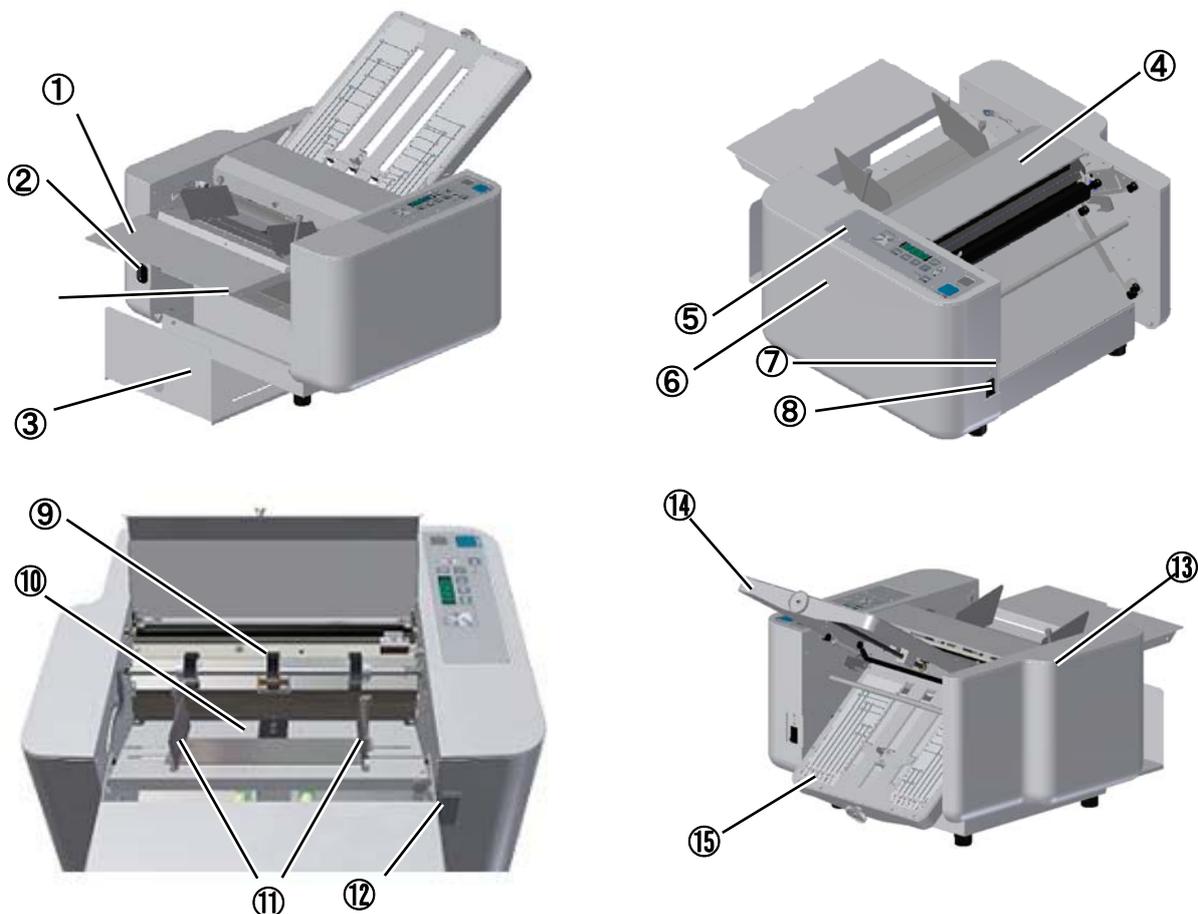
万一不足していたらすぐに販売店に連絡してください。

また、保証書の記入をお願いします。

付属品	個数	図
折りカセット 1	1	
折りカセット 2	1	
電源コード 注意：形状は異なる場合があります	1	
機械カバー	1	
取扱説明書	1	
保証書 (本冊子に含む)	1	

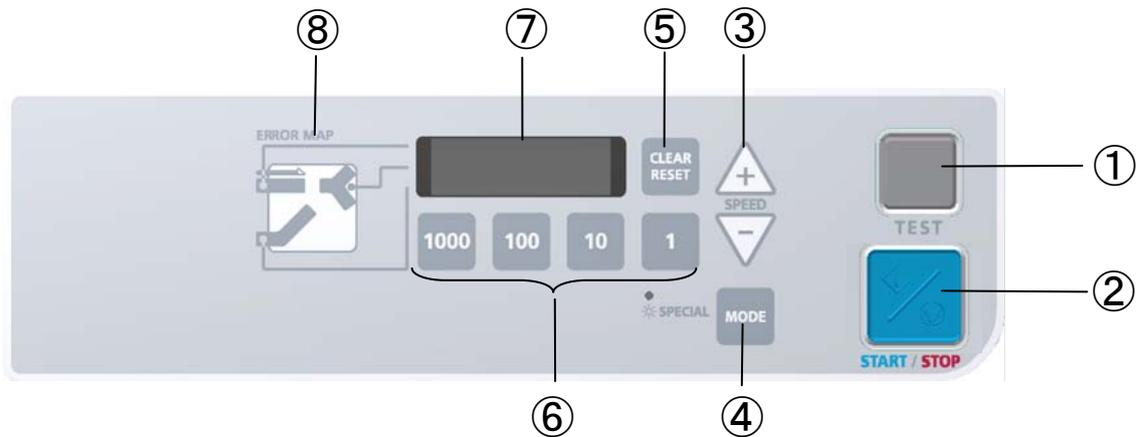
2. 製品各部の名称

2. 1 外観



番号	名称	はたらき	番号	名称	はたらき
1	補助テーブル	大きい用紙を支える	9	給紙ローラ	用紙を1枚だけ給紙
2	インレット	電源コードを繋ぐ	10	給紙テーブル	用紙を載せる
3	排紙テーブル	折った紙を蓄える	11	用紙ガイド	給紙時の曲がりを防止
4	安全カバー	開けると動作が停止	12	給紙テーブルレバー	給紙テーブルを昇降する
5	操作パネル	枚数設定など	13	左化粧カバー	メカ部の保護
6	右化粧カバー	メカ部の保護	14	折りカセット1	1回目の折りを入れる
7	ブレーカ	過電流保護	15	折りカセット2	2回目の折りを入れる
8	電源スイッチ	電源の入り・切り	16		

2. 2 操作パネルシート部



番号	名称	はたらき
①	テストキー	テスト折りを2枚（カウンタに影響しないで2枚のみ折る）
②	スタート／ストップキー	スタートとストップ
③	速度キー	速度調整
④	モードキー	スペシャルモードの切り替え
⑤	クリア／リセットキー	カウンタをクリア、エラーをリセット
⑥	数字キー	減算カウンタ時枚数を入力
⑦	カウンタ	枚数を表示
⑧	エラーマップ	紙詰まり・スリップ・ジャム発生時、発生場所を表示

3. 特に注意していただきたいこと

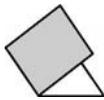
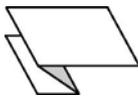
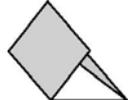
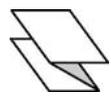
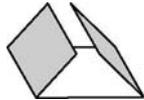
3. 1 用語の定義

3. 1. 1 マーク解説

注意! 注意していただきたいことです。
ポイント! 知っているると便利なことです。

3. 1. 2 用語・折形解説

名称	解説
ジャム	用紙が機械内部で詰まること
重送	2枚以上重ねて（折りカセット1・2内）給紙すること
スリップ	用紙が送り込まれないこと
原位置	折りカセット1の折り位置ガイドがいちばん左側にあること （微調整ツマミを右に見たとき）
さばく	用紙どうしがはりついている状態をはがすこと

図						
折形	2つ折り	4つ折り	片袖折り	内3つ折り	外3つ折り	観音折り

図の着色部は、給紙テーブルに用紙を下向きにセットしたときに折られた状態です。

3. 2 特徴および使用目的

- ・操作が簡単です。
- ・プリセットカウンタ（枚数表示を繰り返す）により必要枚数をすばやく折ることができます。
- ・用紙の断裁が曲がっていた場合および斜めに折られたときに、曲がりを補正する機能として斜行調整ツマミがあります。
- ・紙詰まり・スリップ・用紙が「0」になったときには、「エラーマップ」上に発生場所を表示します。
- ・2つ折り・4つ折り・片袖折り・内3つ折り・外3つ折り・観音折りの6種類の折形とクロス折りができます。

3. 3 使用しないとき

- ・電源プラグをコンセントからはずしてください。
- ・機械カバーを掛けてください。

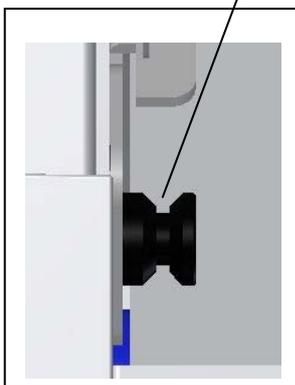
3. 4 使用上の注意

- ・安全カバーの開閉はツマミを持ってください。用紙ガイドにはさまれる恐れがあります。
- ・特に重要な書類は事前に折りテストをして折り位置の確認をしてください。
- ・理由を問わず、用紙の折ずれ・破損の補償はご容赦ください。

4. 使用前の準備

4. 1 付属品を取付ける

(1) 折りカセット2を取り付けます。

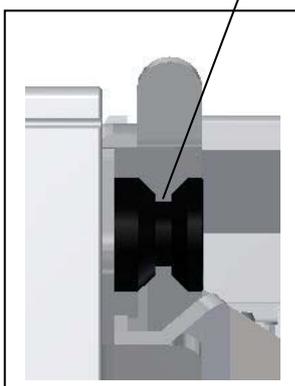
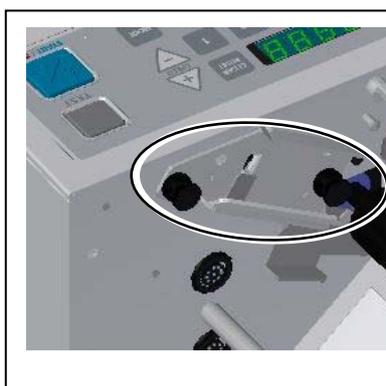


溝にカセットを載せ滑らせます

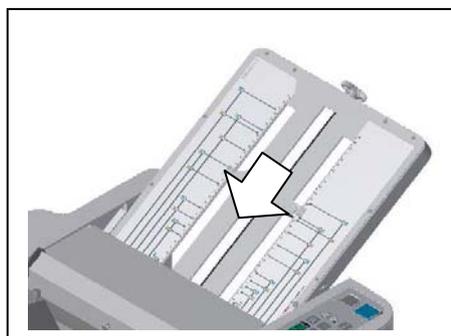


レール部分にカセット2を滑らすように矢印方向斜め45度程度の角度で差し込みます。

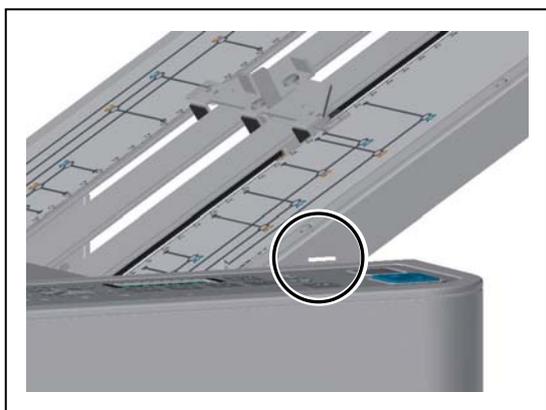
(2) 折りカセット1を取り付けます。



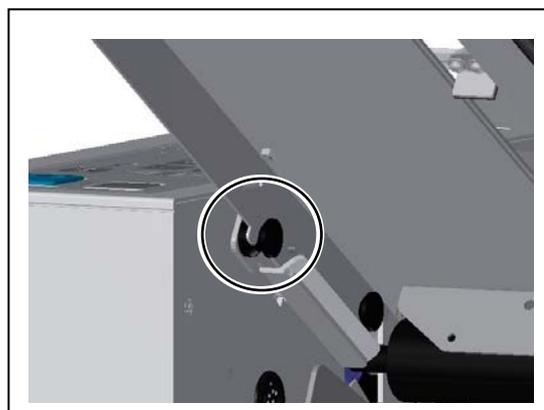
溝にカセットを載せ滑らせます



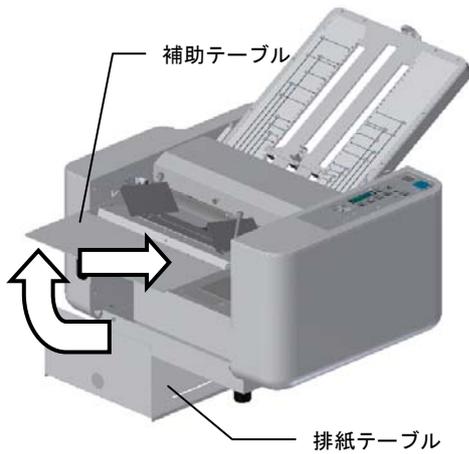
両側にある丸印の折りカセット1ガイドに沿わせるようにして、折りカセット1を差し込みます。



側面の角穴が本体サイドカバーの面に丁度合うように押し込んでください。



折りカセット1がしっかりと固定されていることを確認してください。



排紙テーブルを引き出し、補助テーブルを持ち上げるようにしてセットします



電源コードをインレットとコンセントに差し込みます
(プラグ形状は写真と異なる場合があります)

注意！

- ・必ずほどこいて使用してください。
 - ・付属の電源コード以外は使用しないでください。
 - ・電源コードのアース線は必ず接地(アース)してください。
 - ・電源コードのプラグ形状は異なる場合があります。
 - ・接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
- また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください



電源スイッチをオンにします。

注意！

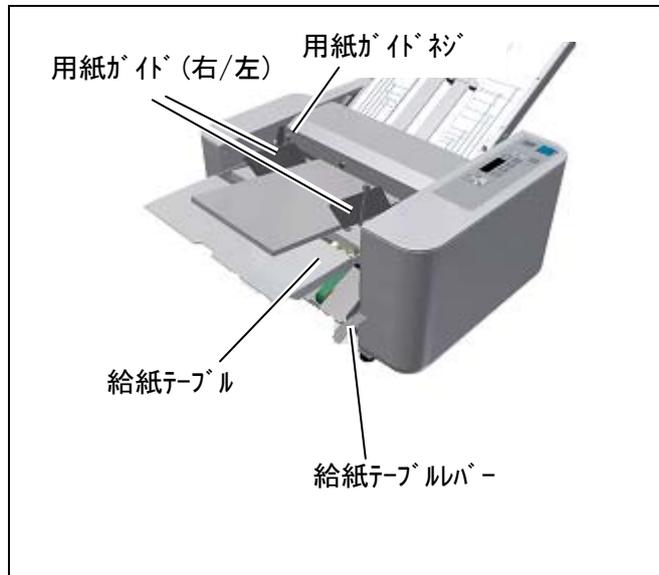
電源スイッチをオンした際に、表示が点灯しない等の状態になった場合は、一旦電源スイッチをオフし1分程度後に再度オンしてください。

 警告	
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください 感電の恐れがあります
	電源コードのアース線は電源コンセントに挿入または接触させないでください 火災・感電の原因になります

5. 使用方法

5. 1 規格用紙（A3・A4・B4・B5等）の定形折り

- (1) 給紙テーブルレバーを上げて、給紙テーブルを下げます。
- (2) 用紙ガイドネジをゆるめて用紙ガイド(右/左)を使用する用紙の目盛りに合わせます。
- (3) 給紙テーブル上に用紙をきれいに揃えて積みます。
- (4) 用紙ガイドと用紙の隙間が無いようにして用紙ガイドネジを締めます。
- (5) 給紙テーブルレバーを下げて用紙をセットします。

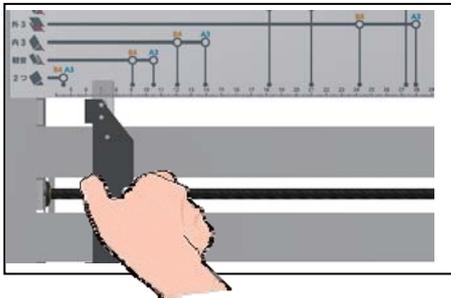


注意!

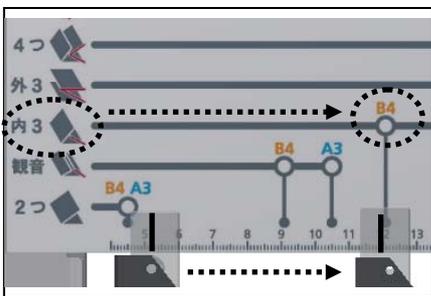
- ・印刷直後の用紙はジャム・重送・スリップ・用紙シワの原因になりますので必ず乾いてから使用してください。
- ・片袖折りの場合は、印刷面を下にしてください。
- ・用紙をセットするときは、印刷面に注意してください。用紙のセット状態と折られた状態は、9ページ「3. 1. 2 用語・折形解説」の表を参考にしてください。
- ・用紙ガイドと用紙に隙間があると折りずれの原因になります。

(7) 折り位置をセットします。

折り位置ガイドのハーフナットレバーを指で挟みます。



折りカセット1・2の目盛りの位置に折り位置ガイドを合わせます。



ハーフナットレバーを離すと折り位置ガイドは自動的にその位置でロックします。

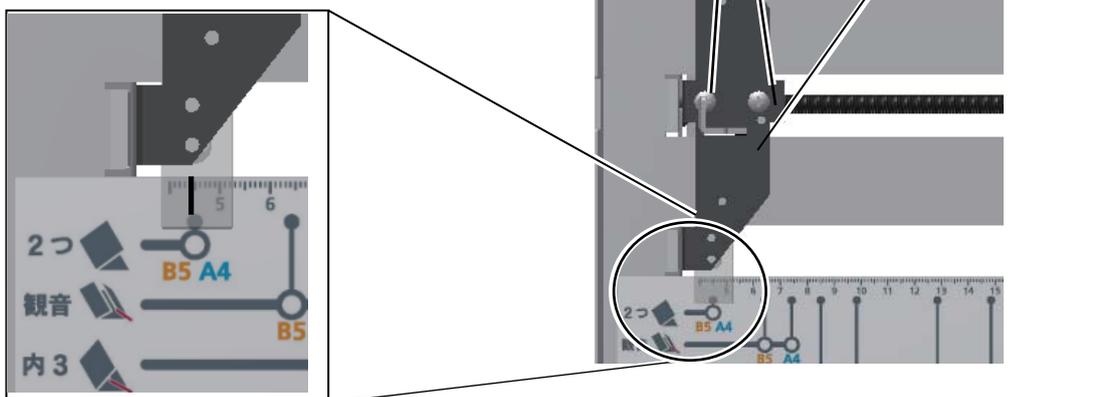
微調整はストッパー微調整つまみで行ってください。

18ページ「5. 4. 2 折りカセット1・2の微調整」参照



注意!

2つ折りの場合、折りカセット1は全サイズ共に原位置（突当りまで）にセットしてください。
2つ折りでシワ、及び異常な折りかたが発生した場合は、折り位置ガイドが動かないまで微調整つまみを短い方向（左回し）に回して下さい。



(8) 試し折り

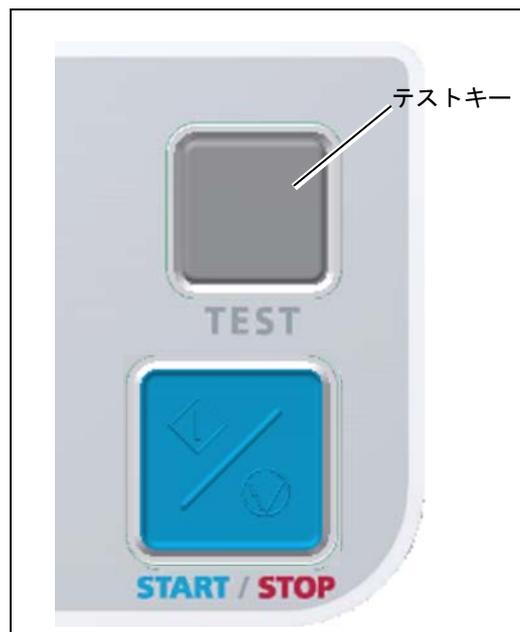
「テスト」キーを押すと、2枚折ります。
(カウンタは動きません)
2枚目の折った用紙で仕上がりを確認します。

折りずれが発生する原因

- ・ローラの汚れ
- ・用紙ガイドのセットが曲がって固定されている又は用紙ガイドと用紙の間に隙間がある
- ・給紙テーブルが曲がっている
- ・用紙の裁断が曲がっている

折りずれを修正する場合

→ 19ページ「5. 4 調整」参照



 注意



ローラなどの駆動部には絶対に手を触れないでください。
けがの原因になります。



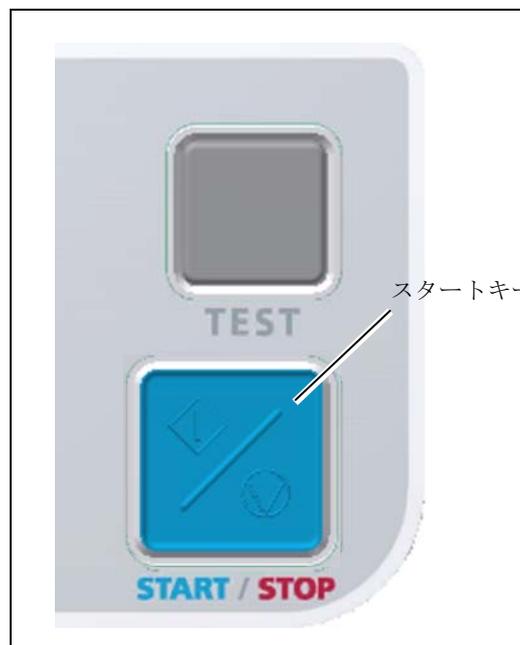
髪の毛・ネクタイ・ネックレス等をローラなどの駆動部にたらしさないでください。
けがの原因になります。

(9) 連続折り

「スタート/ストップ」キーを押すと、連続して用紙を折ります。動作中に、もう一度押すと停止します。カウンタは加算していきます。

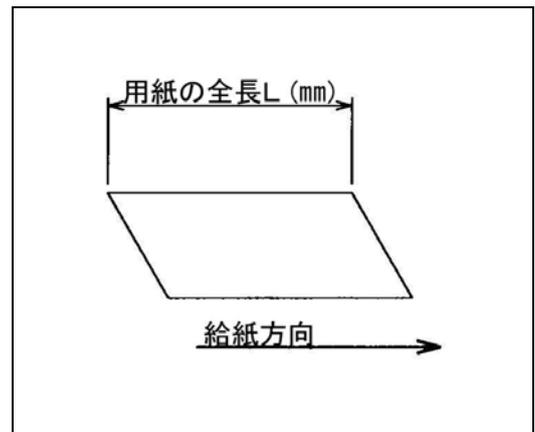
「クリア」キーを押すとカウンタは「0」に戻ります。希望枚数のみ折りたい場合

→ 18ページ「5. 5 カウンタ」参照



5. 2 規格外用紙（A3・A4・B4・B5等以外）の折り位置セット方法

- (1) 用紙の長さを測ります。
 折りたい形に合わせて下表より折りカセット1・2の
 折りたい長さを計算し、折り位置ガイド（指針）を移動
 させます。



(単位 mm)

	折りカセット1	折りカセット2
2 つ 折 り	原位置	1 / 2 L
4 つ 折 り	1 / 2 L	1 / 4 L
片 袖 折 り	3 / 4 L	1 / 4 L
内 3 つ 折 り	1 / 3 L	1 / 3 L
外 3 つ 折 り	2 / 3 L	1 / 3 L
観 音 折 り	1 / 4 L	1 / 2 L

用紙の長さ、折りカセット1・2の折り位置ガイド
 (指針) 位置関係。

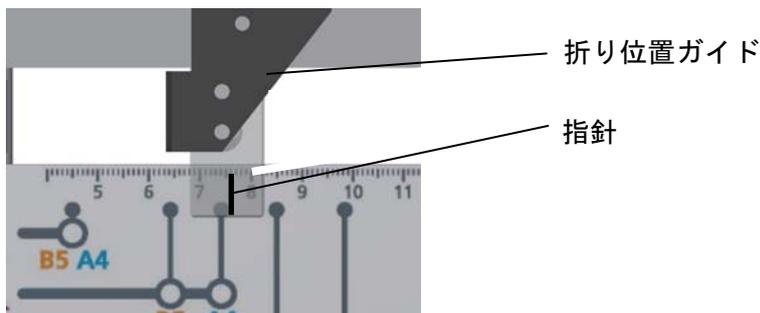
例) 300mmの用紙を4つ折りにする場合。

折りカセット1 = $300 \times (1 / 2 L) = 150 \text{ mm}$

⇒折り位置ガイドの指針を150mmの位置に合わせます

折りカセット2 = $300 \times (1 / 4 L) = 75 \text{ mm}$

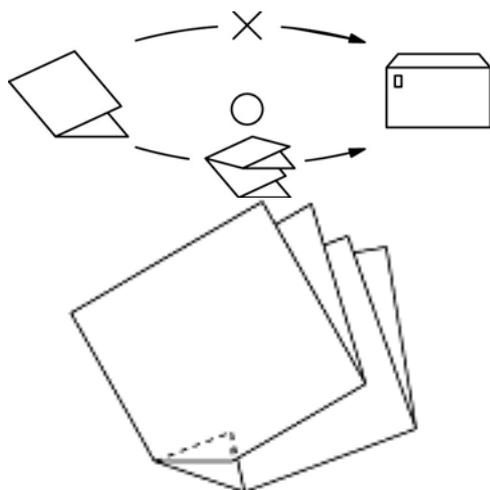
⇒折り位置ガイドの指針を75mmの位置に合わせます



B6・A5サイズは、下表を参考に折り位置ガイドの位置を設定して下さい (mm単位)

用紙サイズ	折りカセット	片袖折り	外3つ折り	内3つ折り	観音折り	4つ折り	2つ折り
B6サイズ 全長182	折りカセット1	137	122	60	不可	91	
	折りカセット2	46	61	61	不可	46	91
A5サイズ 全長210	折りカセット1	158	140	70	52	105	
	折りカセット2	53	70	71	106	53	105

5. 3 クロス折り (オプション)



・クロス折りとは、2つ折りした用紙をさらに4つ折りや内3つ折りなどにするをいいます。

・A3の用紙を4つ折りしただけでは封筒に入らない場合などにクロス折りをします。

※クロス折りは用紙の種類、用紙サイズ、用紙の目、温度・湿度、印刷状態などによってきれいに折れないものもあります。

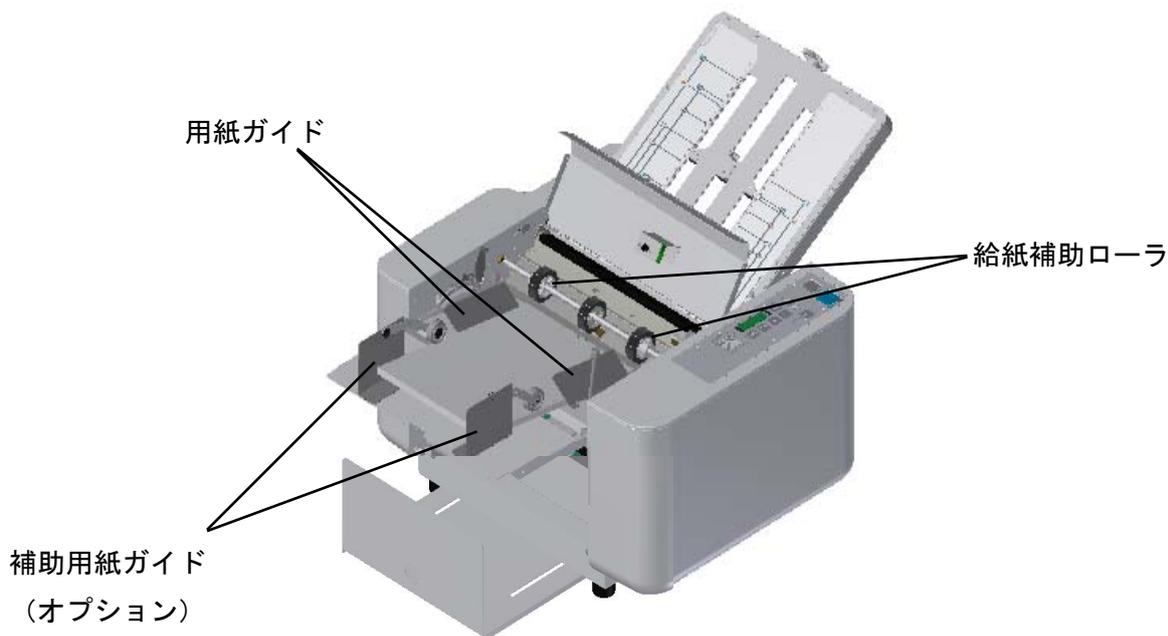
通常の折りより横ズレが大きくなったり、折った角が内側に折れる現象が起こる場合がありますが機械の故障ではありません。

注意！

2つ折りした折り目を手でよくしごきます。

用紙は少な目に積みます。(30枚以下)

補助用紙ガイドは、用紙ガイドにあたらないように置きます。用紙ガイドにぶつかっていると給紙テーブルが正しく昇降しない場合があります。



- ① 2つ折りにした用紙を給紙テーブルにのせ、用紙ガイドを密着させて固定します。
- ② 左右の給紙補助ローラのネジをゆるめて、用紙の両端をおさえる位置にセットします。
- ③ 補助用紙ガイドを、先端のベアリングが用紙のふくらみをおさえる位置に置きます。

注意！

給紙補助ローラのホルダは樹脂製のため、ネジの締め過ぎによるホルダの破損に注意してください。

5. 4 調整

5. 4. 1 斜行調整

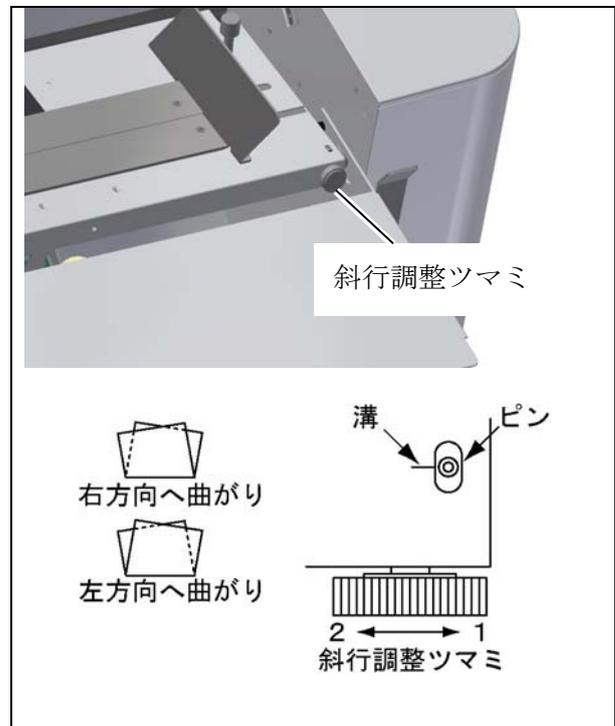
折り合わせが曲がっている場合は、

- ①用紙ガイドと用紙の間に隙間が無いか確認してください。
- ②斜行調整ツマミで曲がりを修整することができます。(基本位置はピンが溝のある中央にあります)

排紙された状態のままみて、用紙の下面が
右へ曲がった場合は斜行調整ツマミを右方向1へ、
左へ曲がった場合は左方向2へまわしてください。
※万が一斜行の曲がりが発生した際は、まず用紙ガイド
と用紙の間に隙間がないか確認してください。

注意!

- ・ 2つ折り以外の場合は折りカセット1で折られた面を下にして斜行調整してください。
- ・ 用紙をかえた時は、斜行を調整し直してください。
- ・ 作業後は斜行調整ツマミを基本位置に戻してください。



5. 4. 2 折りカセット1・2の微調整



※折り形の図は排紙テーブルに出てきた用紙を操作パネル側から見た状態で表しています。

	折り形	2つ折	観音折	内3つ折	外3つ折	4つ折	片袖折
折りカセット1	紙折りの状態 (実線の長さを折りカセット1で調整します)	折りカセット1を通りません					
	実線部が長い場合		短	短	短	短	短
	実線部が短い場合		長	長	長	長	長
折りカセット2	紙折りの状態 (実線の長さを折りカセット2で調整します)						
	実線部が長い場合	短	短	短	短	短	短
	実線部が短い場合	長	長	長	長	長	長

5. 5 カウンタ

(1) 加算モード：「クリア/リセット」キーを押し、カウンタを0にします。
「スタート」キーを押すと動作を開始し、紙が無くなるまで動作を続け、1枚折るごとに、カウンタが1ずつ増えます。

(2) 減算モード：折る枚数を指定したい場合に使用します。
「クリア/リセット」キーを押し、カウンタを0にし、希望の枚数を「数字」キーで入力します。
減算モードランプが点灯します。

「スタート」キーを押すと動作を開始し、1枚折るごとにカウンタが1減り、カウンタが0になると停止します。

20枚折りたい場合、「10」キーを2回押します。



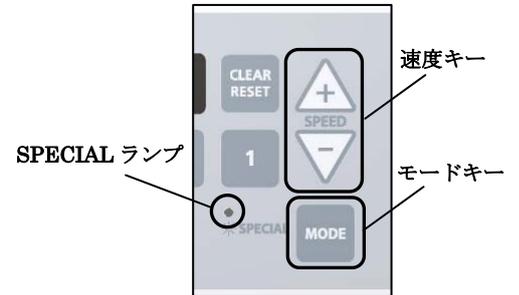
5. 6 速度調整 (SPECIALモード)

次の場合に速度を調整してみてください。

- ・更紙などの柔らかい用紙でシワが出たり、斜行が出る場合は遅くしてください。
- ・動作音を小さくしたい場合は遅くしてください。
- ・厚口用の用紙で紙詰まりが発生する場合は速くしてください。

「+」「-」キーで速度調整をしてください。

速度はカウンタに表示されます。



表示	速度	説明
L0	低速	柔らかい用紙の折作業、動作音を小さくしたい時に選択してください。
ME	中速	基本的な速度です。
HI	高速	厚口用の用紙で選択してください。

SPECIALモード

「モード」キーを押し SPECIAL ランプが点灯している状態では SPECIAL モードに移行します。

上記同様に3段階から速度を選択できます。

表示	モード	説明
S_L0	静音モード	静かに動作するモードです。(※厚口用の用紙には不向きです)
S_ME	厚紙モード	厚口用紙の専用モードです。
S_HI	超高速モード	高速で折り作業が行えます。A4 以下の2つ、内3つ、4つ折りのみ行えます。

注意!

- ・速度を変化させた後は、折り位置の微調整が必要になります。

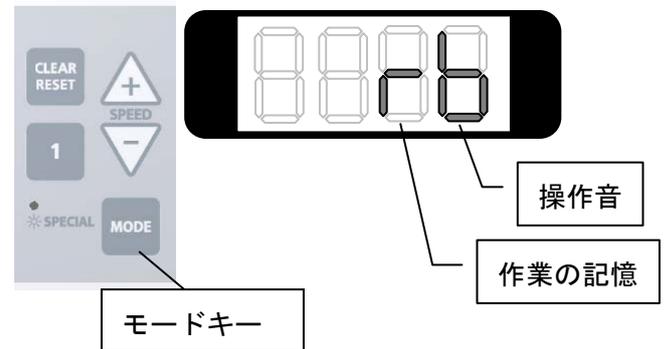
ポイント!

- ・ SP1 : 標準モードの最低速度と同じモータの回転数で、給紙間隔を詰めて動作しているため、処理枚数は標準モードの約 1.5 倍となります。
- ・ SP2 : 標準モードの最高速度より早いモータの回転数で、給紙間隔を空けて動作しているため、用紙の搬送の勢いを利用して厚紙用紙を確実に折ることができます。
- ・ SP3 : 標準モードの最高速と同じモータの回転数で、給紙間隔を詰めて動作しているため、処理枚数は標準モードの約 1.5 倍となります。

5. 7 設定機能

ここでは「作業の記憶設定」「操作音の有無設定」が出来ます。

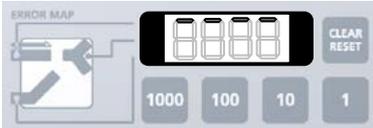
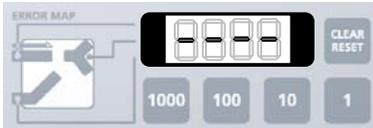
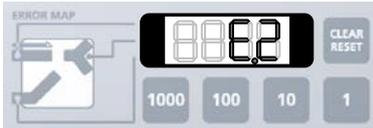
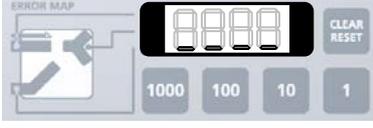
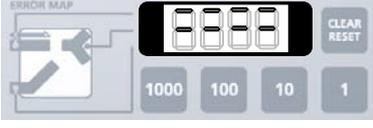
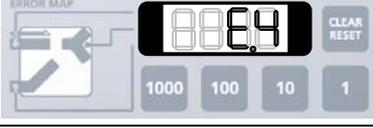
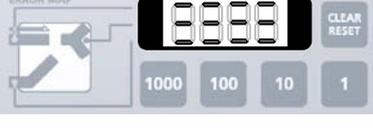
「MODE」キーを押し続けて下さい。
 7セグメント表示が「_ _ r b」になります。
 各桁が点灯している時は機能（設定）ON、
 点滅時はOFFとなります。
 「MODE」キーを押しながら、対応キーを押す事で
 ON/OFFの切り替えが行えます。
 「MODE」キーを離す事で設定内容が決定されます。



表示	機能／設定	対応キー	説明
r	作業の記憶設定	100	電源を切る直前の作業内容を記憶します。 電源を入れてすぐに前日の作業などを始められます。
b	操作音有無設定	10	ボタンを押した時の音や作業終了音などのピープ音を消す事が出来ます。

5. 8 エラー表示・状況・対策

次のような時、機械は自動的に停止します。

表 示	状 況	対 策
 	①用紙が無い状態でスタート/ストップキーを押した時 ②給紙テーブルレバーが上がっている状態でスタート/ストップキー・テストキーを押した時 ③減算モードで動作中に用紙が途中でなくなった時	①用紙をセットする ②給紙テーブルレバーを下げる ③用紙を補充する
 	①給紙スリップ発生時 ②折りカセット 1 又は 2 で紙詰まり発生時	①用紙セパレータ・給紙ゴムローラ清掃又は交換 22 ページ「6. 2 日常のお手入れ」、24 ページ「6. 5 用紙セパレータ・給紙ゴムローラの脱着」参照 ②折りカセット 1・2 を外し詰まった紙を取除く
 	①排紙テーブル満杯時 ②排紙部紙詰まり発生時 ③排紙センサが汚れている時	①排紙部の紙を取る ②紙詰まりを取り除く ① 紙センサの清掃 23 ページ「6. 4 排紙フォトセンサの清掃」参照
 	①安全カバーが空いている時 ②折りカセット 1 がしっかりセットされていない ③折りカセット 2 がしっかりセットされていない	①安全カバーを閉める ②折りカセット 1 をセットしなおす ③折りカセット 2 をセットしなおす
 	①折りカセット 1 又は 2 で紙詰まり発生時 ②速度が遅いため折り動作不良	①折りカセット 1・2 を外し詰まった紙を取除く ②速度を上げる

6. 保守・点検・消耗品

6. 1 点検・お手入れ時の注意事項



警告



点検・手入れ時には電源プラグをコンセントから抜いてください。
けが・感電の恐れがあります。

6. 2 日常のお手入れ

- ・折りローラに紙粉やホコリがたまると紙折りに支障をきたす場合がありますので、使用しない時は機械カバーをかけてください。
- ・折りローラに紙粉及び印刷物のインクが付着するとシワ、紙詰まり等トラブルの原因になるので定期的にゴムローラ専用クリーナ※と布切れを用いて清掃してください。
- ・折りローラは1本ずつ、ゴムローラ専用クリーナを浸した布切れで力いっぱいこすり、何も汚れが取れなくなるまで拭いてください。
- ・折りローラの清掃は脱着可能な2本の折りローラを外して行うと清掃がしやすくなります。
26ページ「6. 4 折りローラの脱着」参照
- ・紙粉及び印刷物のインク等が給紙ゴムローラや用紙セパレータに付着すると給紙性能が低下し、紙詰まりやスリップの原因になるのでゴムローラ専用クリーナを用いて清掃をしてください。
- ・外装部の汚れはアルコール又は清掃用クリーナを使用してください。
溶剤系の洗浄液は変色の原因になるので使用しないでください。

※ゴムローラ専用クリーナ LG-CL500 : 注文コード 846-24

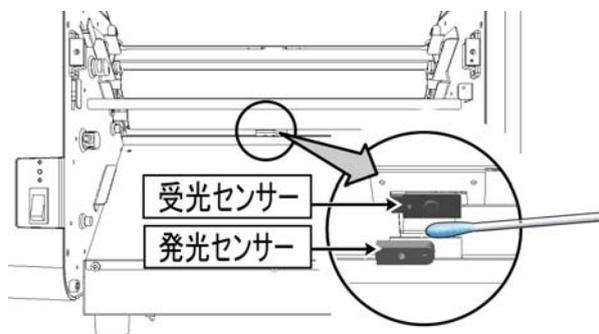
6. 3 消耗品について

製品に使用されている給紙ゴムローラ、用紙セパレータは消耗品です。
交換が必要な場合は、お買い求め販売店までご連絡ください。

6. 4 排紙フォトセンサの清掃について

排紙フォトセンサの清掃

[排紙フォトセンサの清掃]

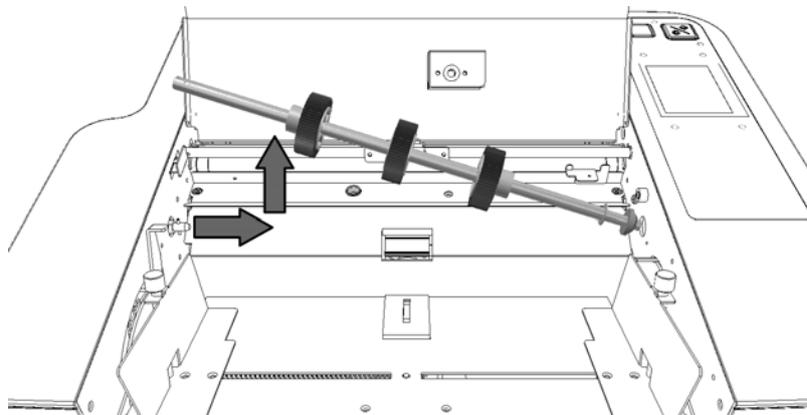


折りローラを外してください（前ページ参照）

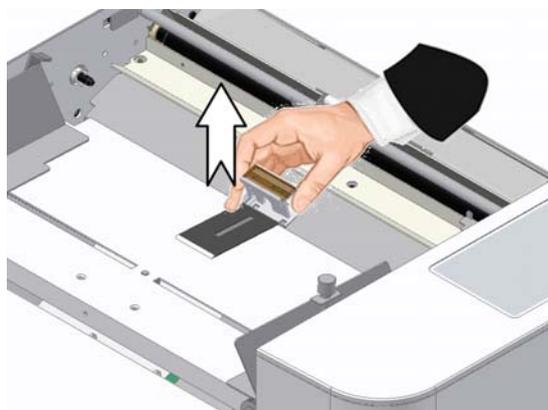
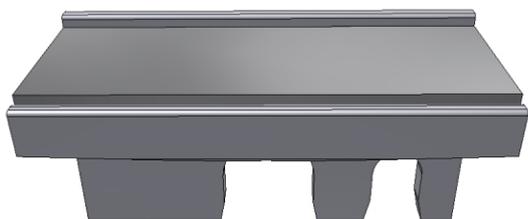
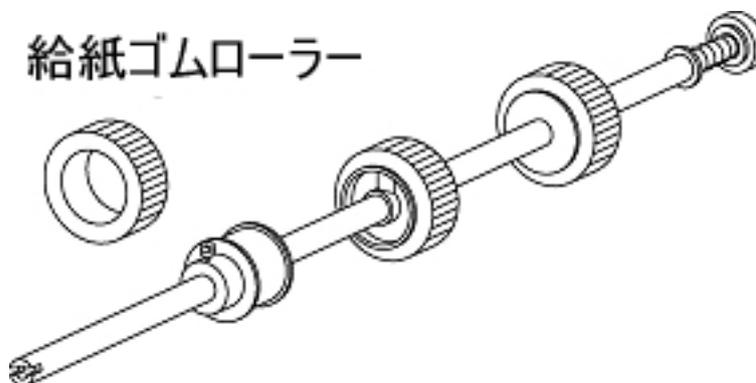
用紙を給紙せず「E3」のエラー表示で停止してしまう場合は、排紙フォトセンサに付着した紙粉を、やわらかい綿棒で取り除いてください。

6. 5 用紙セパレータ・給紙ゴムローラの脱着について

給紙ゴムローラと用紙セパレータを交換する際は、下記の要領で取外しを行ってください。



給紙ゴムローラ



用紙セパレータ（樹脂付）の両端を持ち、引き抜きます。
取り付けは逆の要領で行います。

上記部品はご購入の販売店へご発注ください。

7. トラブル時の処置

7. 1 トラブルの内容と処置

現象	原因	処置	参照
折りずれが生じる	微調整がされていない	微調整ツマミで折りずれ修整	5.4.2 折りカセット1・2の微調整
	折りローラが汚れている	折りローラ清掃	6. 保守・点検・消耗品
	用紙ガイドのセットが曲がっていて固定されている又は用紙に密着していない	用紙ガイドを用紙に密着させる	
	給紙テーブルが曲がっている	斜行調整ツマミで給紙テーブルをまっすぐにする	5.4.1 斜行調整
	用紙の裁断が曲がっている	斜行調整ツマミで調整する	5.4.1 斜行調整
	更紙など薄口で反っている用紙を使用している	用紙交換または（可能であれば）裏返す	
紙詰まりが多発する	折りローラが汚れている	折りローラ清掃	6. 保守・点検・消耗品
	折りローラが正しくセットされていない	折りローラを正しくセットする	
	仕様外用の紙を使用している	仕様内の紙を使用する	
	折りカセット1・2が正しくセットされていない	折りカセット1・2を正しくセットする	4.1 付属品を取付ける
	用紙通過部に紙片が詰まっている	各部点検し紙片を取り除く	
	給紙ローラが汚れている	給紙ローラ清掃	6. 保守・点検・消耗品
	静電気の異常発生	市販の静電気除去スプレーを吹きかける	
	印刷直後で湿っている	乾いてから使用する	
スタートキーを押しても給紙しない	給紙テーブル上に用紙がない、少ない	給紙テーブル上に用紙をのせる	
	安全カバーが開いている	安全カバーを閉じる	
	排紙フォトセンサが汚れている	排紙フォトセンサ清掃	6.4 折りローラの脱着・排紙フォトセンサの清掃について
シワが生じる	折りローラに紙片が巻きついている	折りカセット1・2を外して折りローラの紙片を取り除く	
	折りローラが汚れている	折りローラ清掃	6. 保守・点検・消耗品
	仕様外用の紙を使用している	仕様内の紙を使用する	
	印刷直後の用紙のはりつき	用紙をよくさばくかインクが乾いてから紙折りをする	
	折りカセット1・2内での紙詰まり	折りカセット1・2を取り外し、紙片を取除く	
	折りカセット1・2が正しくセットされていない	折りカセット1・2を正しくセットする	4.1 付属品を取付ける

現象	原因	処置	参照
	薄口で反っている用紙を使用している	用紙交換または (可能であれば)裏返す	
	印刷直後で湿っている	乾いてから使用する	
電源スイッチをONしても電源が入らない	電源コードのプラグが外れている	電源コードのプラグを確実に差し込む	4.1 付属品を取付ける
	ブレーカが働いている	紙詰まり等の原因を除き、 ブレーカボタンを押す	
排紙ジャムが多発する	排紙ローラの位置が用紙サイズに適した位置にセットされていない	排紙ローラを最適な位置にセットする	
	排紙満杯	用紙を取り除く	
給紙スリップが多発する	給紙ローラが摩耗している	給紙ローラ交換	6. 保守・点検・消耗品
	給紙ローラに紙粉やインクの汚れがある	給紙ローラ清掃	6. 保守・点検・消耗品
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
	用紙セパレータが汚れている	用紙セパレータ清掃	6. 保守・点検・消耗品
	給紙テーブルの用紙積載量が少ない	用紙は20枚以上セットする	
	用紙セパレータが摩耗している	用紙セパレータ交換	6. 保守・点検・消耗品
重送が多発する	用紙セパレータが摩耗している	用紙セパレータ交換	6. 保守・点検・消耗品
	用紙セパレータが汚れている	用紙セパレータ清掃	6. 保守・点検・消耗品
	印刷済用紙が密着している	用紙をよくさばいて再セット	
	仕様外の用紙を使用している	仕様内の用紙を使用する	
紙折れが生じる	用紙のカールが大きすぎる	カールを矯正	
	微調整が正しくセットされていない	微調整を正しくセット	5.4.2 折りカセット 1・2の微調整
	折りカセット1・2が正しくセットされていない	折りカセット1・2を正しくセットする	4.1 付属品を取付ける

7. 2 故障の場合

修理が必要な場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

8. 移設または廃棄するとき

8. 1 移設

8. 1. 1 旧設置場所からの撤去作業

- ・電源スイッチを切る
- ・電源プラグをコンセントから抜きとる
- ・折りカセット1・2を外す
- ・補助テーブルをしまう
- ・排紙テーブルをしまう

8. 1. 2 運搬

- ・取り外した部品や付属品、取扱説明書を一緒に運ぶ。
- ・強い振動や衝撃を与えないようにする。
- ・保護手袋をし、2人で底面4隅をしっかり持って運搬する。

8. 1. 3 移設先での設置

- ・新設の場所と同様、すべての作業を行ってください。
- ・旧設置場所と電源周波数が異なる場合は、使用できません。
周波数設定が必要になります。お買い求めの販売店までご連絡ください。

8. 2 廃棄

廃棄する際は、各地方自治体の政令に従い産業廃棄物処理業者に依頼するなど、適切な処理をしてください。

9. 製品仕様

9. 1 仕様

用紙寸法	B7 (91×128mm)～A3 (297×420mm) ※B7は2つ折りのみ可、B6は観音折り不可
用紙質量	40kg～110kg (46.5g/m ² ～127g/m ²) 2折りのみ 135kgまで (157g/m ²) ※速度による制限あり
紙質	更紙・上質紙・上質孔版紙・中質紙・特定のコート紙 上記の紙質であっても、一度折った紙や印刷機、コピー、プリンター等による熱によってカールしている状態・波を打っている状態などの紙では、うまく折れない場合があります
折り形	2つ折り・4つ折り・片袖折り・内3つ折り・外3つ折り・観音折り・その他変形折り・2回折りによるクロス折り
折り寸法	最大折り寸法 折りカセット1：322mm 折りカセット2：216mm
	最小折り寸法 折りカセット1：46.5mm 折りカセット2：45mm
給紙方式	3輪式サバキ方式
排紙方式	ローラ3段階位置手動切り換え
給紙積載量	500枚 (上質紙64g/m ²)
処理速度	2400～14400枚/時 (A4 2つ折り時) 最高速時は、エラー後に次の用紙を給紙して停止 その他、折り形の種類の制限あり
操作方式	自然落下方式
付加機能	斜行調整・紙詰まり検知・4桁カウンタ・ジャムマップ表示
消費電力	50W
使用電源	100V 50/60Hz
機械寸法	W800×D545×H500mm (使用時) W450×D545×H330mm (収納時)
機械質量	25.2kg

本機の仕様及び外観は改良のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

メモ

取扱説明書

紙折機 EZF-100

この「取扱説明書」はいつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

また、この「取扱説明書」を汚されたり、紛失された場合は、販売店か当社営業担当者、又はお客様相談センターまでご連絡して、内容を確認のうえ請求してください。

この製品を譲渡される場合は、次の所有者にこの説明書を必ず添付して譲渡してください。

故障の場合

修理が必要な故障の場合は、販売店または当社営業担当者及び以下のウチダテクノまでご連絡ください。

部門・部課名	所在地	TEL FAX
東京	東京都中央区新川 1-10-14 ニューリバービル 2F	(03) 5657-4071 (03) 5657-4081
大阪	大阪市中央区和泉町 2-2-2 ㈱内田洋行内 3F	(06) 6920-2460 (06) 6920-2780
札幌	北海道札幌市中央区北 1 条東 4-1-1 サッポロファクトリー(株)内田洋行内 1F	(011) 241-2825 (011) 241-2827
福岡	福岡県福岡市博多区東光 2-10-11	(092) 476-5011 (092) 476-5009
名古屋	愛知県名古屋市中区丸の内 2-4-20	(052) 220-5270 (052) 222-7640